

わんにゃん広場

No.96

令和2年2月20日

(一財)滋賀県動物保護管理協会
滋賀県湖南市岩根 136-98
☎0748-75-6522



シニア犬・猫元気で長生きのために②

高齢になると身体機能や脳機能が衰えてくることは人間も犬猫も同じです。人間の場合は相応の運動や脳を活性化させるトレーニングをするなど老化のスピードを自主的に遅らせることができますが、犬や猫には老化を自覚して自身で対策することができません。今回は愛犬愛猫の老化対策について長寿犬猫優良飼養者表彰受賞者のアドバイスを交えて紹介します。



運動や散歩時の注意点



犬 適度な運動と刺激を与えて

シニアになると若い頃のように元気に動き回ったりすることが減り、動きたがらなくなることもあります。動きたがらないからといって何もしていないと、筋力の衰えによって足腰が弱くなり最終的に寝たきりになってしまうことにもなりかねません。歩行時にふらつくようであれば補助具などで足腰への負担を和らげ少しでも歩かせるようにしましょう。散歩は運動になるだけでなく、視聴覚や臭覚などを通して脳にも良い刺激になります。ただ、今までのように不意に出会ったほかの犬に対して驚いたり、よける動作ができなかったりすることがあるため注意が必要です。

昼間は庭で自由運動、夜は静かな場所でゆっくり休むことができますようにしています。

猫 衰えに合わせて安全対策

当然、猫もシニアになると足腰の筋力が衰えます。愛猫が今までは平気でジャンプしていた場所への移動をためらうようになっていないかを観察するようにし、もしも、そのようなしぐさが見られたら高さ調整をして今までどおりお気に入りの場所に到達できるように工夫してあげましょう。また、高いところからの着地点には座布団やクッションを置くなどしてあげましょう。



生活の中にも一工夫

犬 食事や遊びに一工夫

容器に入れて与えていたドライフードを新聞紙やレジャーシートの上にはら撒いて与えると一粒ずつ探しながら食べるので嗅覚を刺激し脳が活性化するだけでなく食べるスピードが遅くなるため消化器官への負担が減ります。また身体能力に合わせて「飛び越える」「またぐ」などの動作を意図的にさせることも良い刺激になります。



目も耳もよくない。環境を変えないこと。

猫「一緒に遊ぶ」から「一緒に居る」へ

今までは遊びの欲求度が減少するため「遊ぼうよ」から「そばにいてよ」に変わってきたらできるだけ一緒にいてあげるようにし、飼い主の方から積極的に声掛けを行うなどして愛猫を安心させてあげるようにしましょう。

動物愛護一般公開講座が開催されました



山崎恵子氏

(一社) アニマルリテラシー総研代表理事
環境省中央審議会動物愛護部会委員
NPO 法人日本補助犬情報センター副理事長
(一社) 優良家庭犬普及協会副理事長
(公社) 日本聴導犬協会副理事長
(公社) 日本動物福祉協会顧問

参加者は60名でしたが、動物愛護や動物福祉についての考え方を整理するために大変貴重な講演になったのではないのでしょうか。

動物愛護の現状と課題～全ての動物に福祉を届けるには～

令和元年12月22日(日)守山市のライズウェル都賀山で動物愛護一般公開講座「動物愛護の現状と課題～全ての動物に福祉を届けるには～」(主催:滋賀県 共催:公益社団法人滋賀県獣医師会)が開催されました。

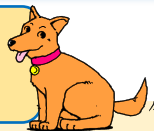
講師には一般社団法人アニマルリテラシー総研代表理事の山崎恵子さんが招かれ、国内外の動物愛護の現状や国際的動物福祉の基本とされる「飢えと渇きからの自由」「傷病からの自由」「不快からの自由」「恐怖や抑圧からの自由」「自然な行動を展開させる自由」からなる「5つの自由」を中心に動物福祉の考え方などについて約2時間講演

参加者のコメント

動物愛護はよく耳にしますが、動物福祉にはあまり馴染みがありませんでした。動物達に畏敬の念をもって接するように心掛けたいと思いました。

動物愛護推進員 H

譲渡犬がスクールガードに!



平成30年にセンターから譲渡された犬がスクールガードとして活躍しています。

この犬は平成30年3月甲賀市内で保護されました。保護当時は春の冷たい雨に打たれ、ずぶ濡れの状態であったこともあり、大変弱々しい印象のおじいちゃん犬でしたが当時からは想像もつかないほど元気に活躍しています。



イベントのお知らせ



令和元年度動物慰霊祭

【日時】令和2年3月24日(火)
13時30分より
【場所】滋賀県動物保護管理センター
いこいの広場
※雨天の場合はふれあい友遊館内で行います。

動物愛護パネル展

【日時】令和2年3月9日(月)～15日(日)
【場所】ビバシティ彦根 1Fセンターモール
彦根市竹ヶ鼻町43-1
【内容】滋賀県動物保護管理センター・当協会の業務内容、譲渡候補犬猫のパネル等の展示

狂犬病予防月間

4月～6月は狂犬病予防注射の強化月間です。飼い主には、生涯1回の登録と毎年の予防注射、鑑札・注射済票の装着が義務づけられています。